

## 令和3年度 審判委員会の活動について

### 1 基本方針

2021年のオリンピックに向けて、ソフトボール競技の普及・発展と競技力向上のため、「人間性豊かでチームからも信頼される審判員の養成」と「審判技術の向上」・「審判組織の拡充・強化」を図るとともに、「何時でも、何処でも、誰でも」同じルールが適用ができることを目的とする。

### 2 重点活動

#### (1) 審判技術の向上

##### 1) 審判技術・ルールの正しい理解と適用

- ① 中央研修会が隔年開催となり、各ブロック及び支部に混乱が生じないような伝達方法を構築し、全国統一した試合運営と審判実務が行えるようにする。
- ② 日頃より審判技術の研究・習熟に努め、ルールの正しい理解と適用を徹底する。
- ③ 魅力あるソフトボール競技にできるように、試合のスピードアップ等のゲームコントロールに努める。
- ④ VRを利用したDVDを活用して、審判技術の向上に努める。

#### (2) 審判組織の拡大・強化

##### 1) 審判員の増員

- ① 審判員の減少に歯止めをかける
  - ア 第3種公認審判員の認定講習会を積極的に開催して、審判員の増員を図るとともに新規資格取得者の実践活動機会の拡大に努める。
  - イ 既資格取得者が、継続して活動・登録できるようなきめ細かな対応を図る。
  - ウ 各チームに審判員資格取得を促し、各支部の大会に帯同審判員制や責任審判員制を導入する。

## 2) 女性審判員の増員と育成

- ① ブロック（東・中・西）別女性審判員研修会の内容改善と充実を図りながら、参加者の拡大と育成を行う。
- ② 女性審判員の活動や交流の場を増やし、意識の高揚を図る。

## 3) 若年層への審判員資格取得の働きかけ

- ① 将来審判員の中核となる優秀な審判員を育成するため、若年層への拡大と中・高校生、大学生を対象とした認定講習会を積極的に開催する。
- ② 中・高校生、大学生審判員の登録手続きの簡素化、審判服や装備等の簡素化を図る。

## (3) 審判員の資質の向上

### 1) リーグ審判員の育成と技術の向上

- ① 女子リーグ担当審判員選出基準に基づき、ルールに精通し、かつ高度な技術を身につけた、チームから信頼される審判員の育成と他の審判員から目標とされる人間性豊かな審判員の養成を図る。
- ② 常に自己研鑽を行い、信頼される審判員を育成するための研修会を実施する。

### 2) 国際的に通用する審判員の育成

- ① 国際大会で通用する国際審判員を養成する。
- ② 派遣期間が長期にわたることから、実績と公平をもとにした派遣計画に基づき早めの派遣要請に努める。
- ③ 国際審判員の取得基準の緩和

### 3) 指導審判員制度の導入推進

- ① 各都道府県単位で審判指導者として適正ある人材を養成する。
- ② 全国に、既に一部地域で実施されているインストラクター制度の拡大推進。